ONKYO®

デジタルオーディオ・ソフトウェア

CarryOn Music

キャリオン　　ミュージック

Ver. 2.70 for Windows

取扱説明書

CarryOn Music は、Windows をご利用の場合にお使いいただける付属のソフトウェアです。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

特長

■ 多彩なフォーマットのファイルを一括管理

CarryOn　Musicでは、WAVE/MP3/WMAファイルに加え、MIDIファイルもまとめて管理できます。

■ 音楽 CD のダイレクト MP3 変換機能

音楽CDをパソコンに録音する（リッパー機能）とき、それぞれの曲は自動的にMP3形式にデータ変換（エンコード）され、ハードディスク内のミュージックライブラリに登録されます。設定によって、WMA形式やWAVE形式に自動変換することも可能です。

■ 日本語 CDDB(CDDB2、CD 情報データベース)によるアルバム情報の取得

CDDB®に登録されている音楽CDでは、インターネットに接続して、アルバム名、アーティスト名、曲名などを読み込み、ミュージックライブラリに反映させることができます。登録時の面倒な入力操作が不要です。CDDBを利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

■ アナログ音源も自在に編集、エフェクト処理を行ってライブラリ登録が可能

レコードやカセットテープなどのアナログ音源も、シンクロ録音機能や自動保存機能により、簡単に録音できます。録音時に自動的に曲を分割し（「自動曲分割」機能）、MP3やWAVE形式に変換して保存します。録音後に、自動分割できなかった曲の区切り調整、ノーマライズ、左右レベルの調整、ノイズ除去、フェードイン・フェードアウト処理などもできます。

■ 高速・高音質 MP3 圧縮エンジン(Fraunhofer IIS)を採用

MP3圧縮エンジンには高速・高音質で評価の高いFraunhofer（フラウンホーファー） IIS社のCODEC（コーデック）を採用しています。パソコンのCDドライブにセットした音楽CDから、実際の再生時間より短時間で録音可能です。

特長

■ ミュージックライブラリとプレイリストによる柔軟で高度なデータベース管理・編集

音楽CDや外部機器から録音した曲は、自動的に「ミュージックライブラリ」に登録されます。インターネットからダウンロードしたり、他のソフトで作成したミュージックファイルも、簡単に登録できます。「プレイリスト」を使うと、聞きたい曲を聞きたい順に再生できます。操作はミュージックライブラリから曲を選んでドラッグ＆ドロップするだけです。

■ 音楽 CD を作成できる CD-R ライティング機能搭載

プレイリストの曲をまとめて変換し、音楽CDを作成できます。また、MP3　CDも作成できるようになりました。（ご利用のCD-R/RWドライブが対応ドライブの場合）

■ グラフィックイコライザーパネルとMIDIパネルを駆使したこだわりのライブラリ再生

グラフィックイコライザーパネルは、4種類まで設定を保存（プリセット）できます。MIDIファイルは、MIDIパネルを使って、曲のテンポやキーを変えたり、再生する楽器を選んだりして、多彩な再生を楽しめます。

■ なめらかなパネルチェンジ（メタモルフォーゼ）を実現

目的に応じた各操作パネルを、自然な感覚で切り換えることができます。

- WAVIO AV SYSTEM、CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows® Me、Windows® 2000 Professional は、米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AcrobatはAdobe社の登録商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。
- CDDB®およびCDDB2®はGracenote™の商標です。
- Partial software replication technology by Prassi Europe SARL/EasySystems Japan Ltd.

目次

特長 2
目次 4

ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約について 6
必要なシステム構成 7
著作権について 7

セットアップする

インストールする 8
アンインストール（削除）するには 10

各部の名称とはたらき

DISK パネル 11
CD パネル 12
LINE パネル 13
リモコン 14

まず使ってみよう

起動するには 15
終了するには 15
プレーヤーのサイズを変更するには 16
パソコンの中にある音楽ファイルを聞くには 18
音楽 CD を聞いたり、録音するには 18
他の機器から録音するには 19
オリジナルの音楽 CD を作成するには 19

再生する

基本的な再生のしかた 20
いろいろな再生のしかた 21
MIDI ファイルの再生のしかた 23
MIDI パネルの操作について 24
グラフィックイコライザーの使い方 25
グラフィックイコライザーの設定を登録するには 25
CDDB について 26
CDDB を利用するための設定をする 26
CDDB のユーザー登録をするには 27
CDDB から音楽 CD の情報を取得するには 30
CD TEXT について 31

目次

録音する

音楽 CD を録音する 32
選択した曲を録音する、録音するファイル形式を指定する 34
アーティスト名や曲名を入力するには 35
他の機器から録音する 36
録音した曲にエフェクトをかけるには 40
他のフォーマットに変換する 43
CD-R/RW の書き込み設定をする 46
音楽 CD を作成するには 47
MP3 CD を作成するには 48

ミュージックライブラリ

ミュージックライブラリ機能について 50
CarryOn Music に音楽ファイルを登録するには 51
CarryOn Music に登録した曲を消去するには 53
CarryOn Music に登録した曲を検索するには 54

プレイリスト

プレイリスト（演奏リスト）機能について 55
新しいプレイリストを作るには 57
プレイリストの名前を変更するには 57
プレイリストを削除するには 58
プレイリストを保存するには 58
プレイリストを読み込むには 59
一度に複数のプレイリストを読み込むには 60
プレイリストの任意の位置に曲を挿入するには 61
プレイリストの末尾に曲を挿入するには 61
グループを選択して新しいプレイリストを作るには 61
曲を検索して、プレイリストに追加するには 62
プレイリストの曲順を入れかえるには 63
プレイリストの曲をソート（並びかえ）するには 63
プレイリスト内の曲をもう一度追加するには 63
プレイリストから曲を削除するには 63

環境設定（SETTING）について 64
ショートカットキー一覧 66
対応 CD-R/RW ドライブ一覧 68
PDF ファイルを見るには 70
お客様ご相談窓口 71

ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約について

本製品に含まれているソフトウェアを開封される前に必ずお読みください。
本製品に含まれているソフトウェアを開封されると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条　（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

ご使用になる前に

必要なシステム構成

対応OS： Windows® 98SE、Me 日本語版　または
Windows® 2000 Professional*1、XP*1日本語版

*1システム管理者（Administrator）でのみ、使用可能です。

最新OSに関する情報は、オンキヨーホームページをご覧ください。

CPU： Intel Pentium® III 450MHz以上（Windows XP）

Intel Pentium® II 350MHz、Celeron®800MHz以上（Windows 98SE/Me/2000）

メモリ： 64MB以上

ハードディスクの必要容量： 20MB以上

※ 保存するファイル形式により、別途空き容量が必要です。

MP3/WMA：1分間につき約1MB

WAVE：1分間につき約10MB

※ お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量、録音する際のビットレートなどにより、必要容量は多少異なります。

著作権について

音楽（外国の楽曲を含む）は著作物として著作権法により保護されています。市販の音楽CDや放送される音楽は、個人で楽しむ場合に限り複製（ミュージックファイルを作成）することができますが、インターネット等のホームページ等にMP3・WMA・WAVEなどの音楽データを掲載したり、作成した音楽データを私的範囲を超えて配布・配信する行為は著作権者（レコード業界を含む）に無断で行うと著作権法に違反することとなりますので、十分にご注意ください。

サウンド（楽曲・効果音）データについて

本ソフトウェアのサウンド（楽曲・効果音）データは、著作権法により保護されています。
お客様は、サウンドデータそのものを商業的に利用する場合を除き、自由にサウンドデータを利用できます。ただし、サウンドデータを著作者に無断で改変し、配布することはできません。

セットアップする

動作環境を確認したら、CarryOn Musicのセットアップをはじめましょう。

ご注意

- 他のアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてください。
- SE-U55XをPCに接続していない場合、インストールができません。接続を確認してください。
- ここでは、Windows XPの画面で説明します。その他のOSでも操作手順は同じです。
- 以前に弊社製品をお買い上げになり、すでに他のバージョンのCarryOn Musicをご使用の場合は、本セットアップを始める前にアンインストールしてください。

インストールする

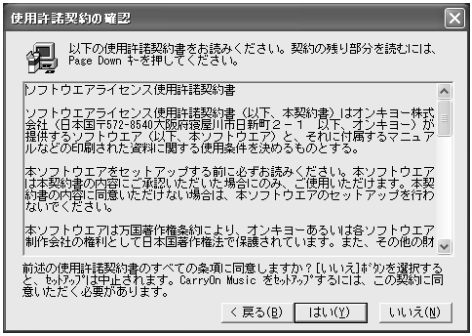
1. **SE-U55XをPCに接続します。**

2. **製品に付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

3. **付属のCD-ROMのCarryOn Musicフォルダの「Setup.exe」をダブルクリックしてください。**
   セットアップウィザードが表示されます。

4. **「ようこそ」の画面が出るので、［次へ］をクリックし、使用許諾契約の内容を確認します。**

5. **使用許諾契約に同意されるときは、［はい］をクリックし、インストール先のフォルダを選びます。**



6. ［次へ］をクリックし、ランタイムモジュールのセットアップ画面のメッセージに従います。

   Windows XPの場合は、Windows Mediaのランタイムのチェックをはずしてください。

7. ［次へ］をクリックし、関連付けするファイルを選びます。

   関連付けしておくと、ミュージックファイルをダブルクリックするだけで、自動的にCarryOn Musicが起動して、曲の再生が始まるので便利です。

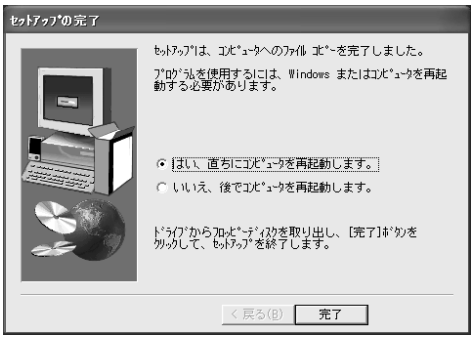
   * ミュージックファイルの関連付けは、インストール後、Setting画面でもできます。

関連付けるファイルタイプにチェックマークを入れます。

8. ［次へ］をクリックし、ショートカットの作成画面のメッセージに従います。

9. ［次へ］をクリックし、セットアップの完了画面で［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

   セットアップが完了しました。



アンインストール（削除）するには

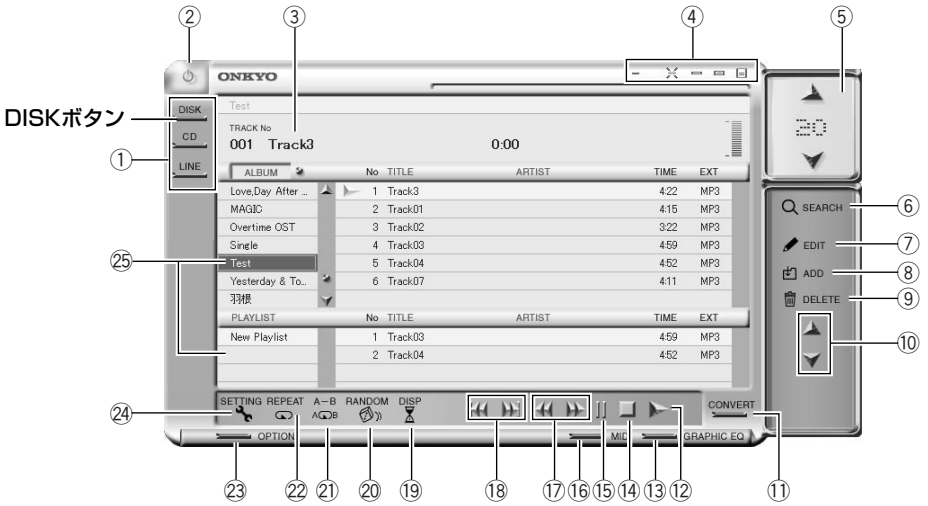
1. CarryOn Musicが起動していないことを確かめます。
   起動しているときは、［⏻］をクリックして終了させてください。
2. ［スタート］→［すべてのプログラム］→［CarryOn Music］→［CarryOn Musicの削除］をクリックします。
3. ［はい］をクリックします。

コントロールパネルからアンインストールするには

① ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
② ［プログラムの追加と削除］をクリックします。
③ ［CarryOn Music］をクリックします。
④ ［変更と削除］をクリックします。
⑤ 確認のメッセージが出ますので、［OK］をクリックします。
⑥ ［完了］をクリックします。

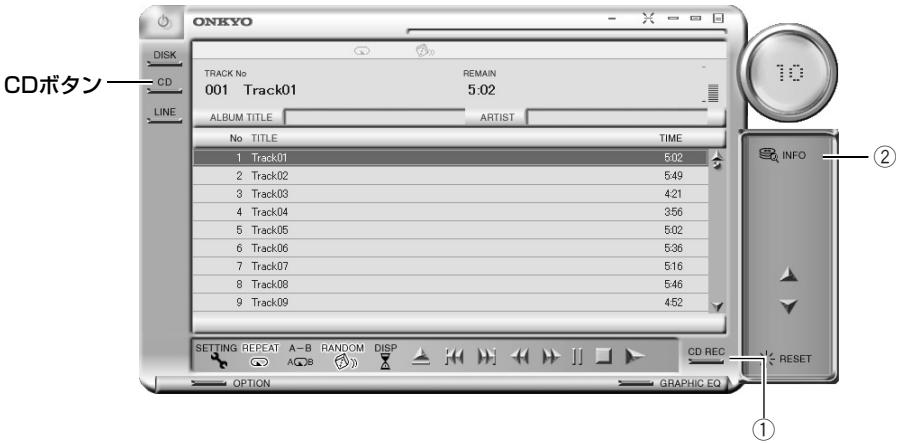
各部の名称とはたらき

DISKパネル（左側のDISKボタンをクリックすると開くパネルです）



① DISKパネル、CDパネル、LINEパネルが切り換わります。
② CarryOn Musicが終了します。
③ セットした音楽CDの曲番、曲数などを表示します。
④ パネルの大きさを切り換えます。
⑤ 音量を調整します。
⑥ ［ライブラリ検索］ダイアログボックスが表示されます。
⑦ ［ミュージックファイル情報］ダイアログボックスが表示されます。
⑧ ディスクライブラリに曲を追加します。
⑨ ディスクライブラリの指定した曲を消去します。
⑩ プレイリストの指定した曲の曲順を上げ下げします。
⑪ ［Convert］（変換）パネルを開きます。
⑫ 再生します。
⑬ GRAPHIC EQパネルを開きます。
⑭ 停止します。
⑮ 一時停止します。
⑯ MIDIパネルを開きます。
⑰ ◀◀/▶▶ ：早送り／早戻しします。
⑱ I◀◀/▶▶I ：曲を前後にとび越します。
⑲ 経過時間表示／残り時間表示が切り換わります。
⑳ 曲を順不同に再生します。
㉑ A-Bリピートモード（指定したA-B間をくり返し再生）になります。
㉒ 1曲リピート、または全曲リピートになります。
㉓ 操作メニューが表示されます。
㉔ 環境設定の画面が表示されます。
㉕ ミュージックライブラリとプレイリストが表示されます。

CDパネル（左側のCDボタンをクリックすると開くパネルです）



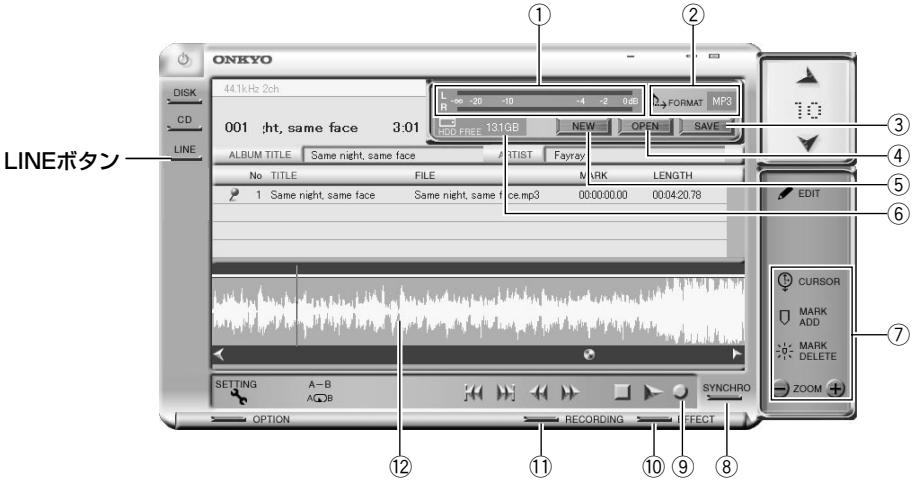
① CD-ROMドライブに入れた音楽CDの録音を開始します。

② CD TEXTまたはCDDBより、音楽CDの情報を取得します。

* 他の操作部は、DISKパネルと同様です。

* 著作権対応した音楽CDでは一部再生できない場合がありますが、これは主にCD-ROMドライブの性能に起因します。詳細はお持ちのCD-ROMドライブメーカーにお問い合わせください。

LINEパネル（左側のLINEボタンをクリックすると開くパネルです）



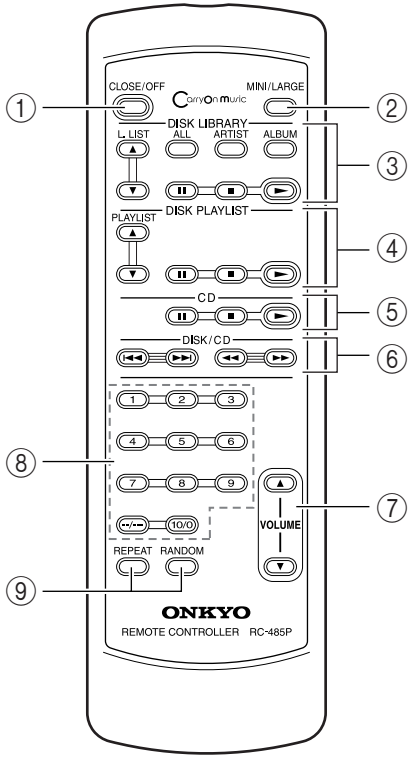
① 入力レベルを表示します。
② ミュージックファイルの保存ファイル形式を選びます。
③ 作業中のファイルを保存します。
④ 選択したミュージックファイルを開きます。
⑤ 新しいファイルを用意します。
⑥ ハードディスクの空き容量を表示します。
⑦ CURSOR：設定位置を数値で指定できます。
MARK ADD：マークを付けます。
MARK DELETE：マークを消します。
ZOOM⊕/⊖：波形モニターを拡大／縮小できます。
⑧ シンクロ録音状態になります。
⑨ 録音／録音待機状態になります。
⑩ EFFECTパネルを開きます。
⑪ RECORDINGパネルを開きます。
⑫ 波形モニターを表示します。

* 他の操作部は、DISKパネルと同様です。

各部の名称とはたらき（リモコン）

リモコン

SE-U55X接続し、パソコンの設定をすると、下記ボタンでCarryOn MusicのDISK・CDプレーヤーを操作することができます。



① **CLOSE/OFF（クローズ/オフ）ボタン**
CarryOn Music、またはWindowsを終了させます。タスクバーのCarryOn Launcherアイコンを右クリックして表示されるメニューで「Close Mode」を選択し、CarryOn Music、またはWindowsに設定します。

② **MINI/LARGE（操作パネルサイズ切り替え）ボタン**
ボタンを押すごとに、操作パネルのサイズが変わります。

③ **DISK LIBRARY（ミュージックライブラリ）操作ボタン**
L. LIST▲/▼：ミュージックライブラリの曲を移動します。
ALL：ミュージックライブラリの曲をすべて選択します。
ARTIST：ミュージックライブラリの曲をアーティスト別に表示します。
ALBUM：ミュージックライブラリの曲をアルバム別に表示します。
❚❚：再生を一時停止します。❚❚ボタンもしくは►ボタンを押すと、ふたたび再生が始まります。
■：再生を停止します。
►：再生を始めます。

④ **DISK PLAYLIST（プレイリスト）操作ボタン**
PLAYLIST▲/▼：プレイリストを移動します。
❚❚：プレイリストの再生を一時停止します。❚❚ボタンもしくは►ボタンを押すと、ふたたび再生が始まります。
■：プレイリストの再生を停止します。
►：プレイリストの再生を始めます。

⑤ **CD（CDパネル）操作ボタン**
❚❚：CDの再生を一時停止します。❚❚ボタンもしくは►ボタンを押すと、ふたたび再生が始まります。
■：CDの再生を停止します。
►：CDの再生を始めます。

⑥ **DISK/CD（DISK/CDパネル）操作ボタン**
I◄◄：演奏中の曲、または前の曲の頭出しをします。
►►I：次の曲の頭出しをします。
◄◄：再生中の曲の早戻しをします。
►►：再生中の曲の早送りをします。

⑦ **VOLUME▲/▼（ボリューム）ボタン**
音量を調整します。

⑧ **曲選択ボタン**
演奏する曲番を入力します。

⑨ **演奏切り替えボタン**
REPEAT：曲を繰り返し演奏します。
RANDOM：曲をランダムに演奏します。

まず使ってみよう

起動するには

ショートカットをダブルクリックして起動する

CarryOn　Musicをインストールすると、デスクトップにCarryOn　Musicのショートカット が作成されます。このショートカットをダブルクリックすると、CarryOn　Musicが起動します。

「スタート」メニューから起動する

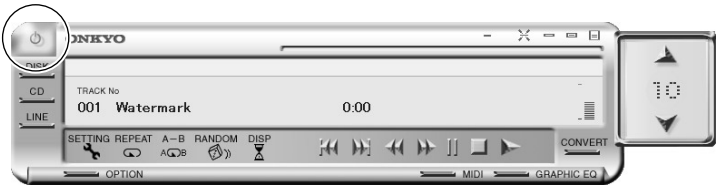
「スタート」→［すべてのプログラム］（もしくは「プログラム」）→［CarryOn　Music］→［CarryOn Music］を選択すると、CarryOn Musicが起動します。

リモコンから起動する

リモコンをSE-U55Xのリモコン受光部に向けて好きなボタンを押します（CLOSE/OFFボタンを除く）。リモコンのどのボタンを押してもCarryOn Musicを起動できます。

終了するには

操作パネルの[⏻]をクリックすると、CarryOn Musicが終了します。



リモコンで操作する場合は、CLOSE/OFFボタンを押します。

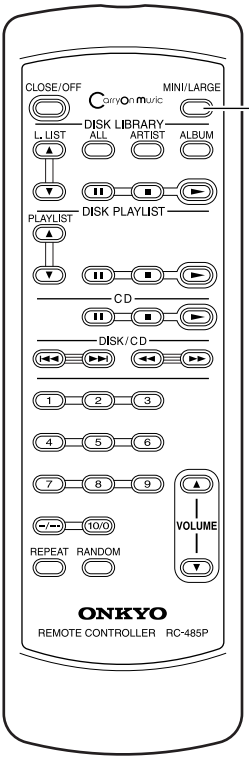
リモコンのCLOSE/OFFボタンでは、CarryOn Music、またはWindowsを終了させることができます。タスクバーのCarryOn Launcherアイコンを右クリックして表示されるメニューで「Close Mode」を選択し、CarryOn Music、またはWindowsに設定します。

このマークを右クリックする

プレーヤーのサイズを変更するには

画面右上のサイズ変更ボタン（5種類）をクリックします。

リモコンのMINI/LARGEボタンをクリックすると、現在選んでいるサイズと縮小サイズを切り換えることができます。



リモコン

MINI/LARGE ボタン

（最小化ボタン：画面からパネルが消えます）

元の画面に戻すには、タスクバーの
［CarryOn Music］をクリックします。

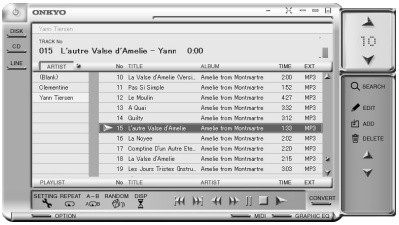
（縮小ボタン）

元の画面に戻すには、 ボタンをクリックします。
この画面では、MIDIパネル、グラフィックイコライザーパネルなどのサブパネルは表示できません。

（標準ボタン）

他のボタンを押して、この標準サイズからサイズを変更することができます。

（ワイドボタン）



他のボタンを押して、このワイドサイズからサイズを変更することができます。

（スーパーワイドボタン）

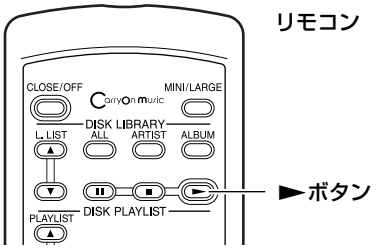
他のボタンを押して、このスーパーワイドサイズからサイズを変更することができます。
この画面では、MIDIパネル、グラフィックイコライザーパネルなどのサブパネルは表示できません。

パソコンの中にある音楽ファイルを聞くには

詳しくは50ページへ

1. CarryOn Musicの操作パネルで、［DISK］をクリックします。
2. ［►］ボタンを押して音楽ファイルを再生します。

リモコンで操作するときはDISK LIBRARYの［►］ボタンを押すと、上記1、2の操作を一度で行うことができます。

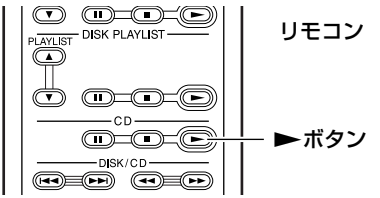


音楽CDを聞いたり、録音するには

詳しくは20、32ページへ

1. CarryOn Musicの操作パネルで、［CD］をクリックします。
2. 再生する場合は、［►］ボタンを押します。録音する場合は、［CD REC］ボタンを押します。

リモコンで操作するときはCDの［►］ボタンを押すと、上記1、2の操作を一度で行うことができます。



他の機器から録音するには

詳しくは36ページへ

1. CarryOn Musicの操作パネルで、［LINE］をクリックします。

2. 録音する機器を選択をします。

3. 録音ボタン［●］を押します。

4. ［SYNCHRO］を押し、入力ソース（音源）を再生します。入力ソースの再生に同期して録音が始まります。
   お使いの再生機器によっては、うまく動作しない場合があります。

5. 録音が終わったら停止ボタン［■］を押し、［SAVE］で保存します。

オリジナルの音楽CDを作成するには

詳しくは47ページへ

1. CarryOn Musicの操作パネルで、［DISK］をクリックします。

2. CD-R/RWに記録する曲を選択し、［CONVERT］ボタンを押します。

3. ［FORMAT］を（くり返し）押し、CD-R/RWに記録する形式（CDA、またはCDD）を選択します。

4. CD-R/RWドライブにメディアをセットし、録音ボタン［●］を押します。

再生する

基本的な再生のしかた

ここでは音楽CDを再生し、基本的な再生操作を覚えましょう。

1. 音楽CDをCD-ROMドライブにセットします。

2. デスクトップの［CarryOn Music］をダブルクリックします。

デスクトップにショートカットがないときは、［スタート］→［すべてのプログラム］（もしくは［プログラム］）→［CarryOn Music］をクリックします。

3. ［CD］をクリック、またはリモコンのCDボタンを押します。

CDパネルに切り換わります。

4. ［►］をクリック、またはリモコンの［►］ボタンを押します。

1曲目から再生が始まります。

5. ［▲］または［▼］をクリックして、音量を調節します。

最大音量（20）まで上げても、音量が極端に小さい場合は、Windowsのボリュームコントロールをチェックしてみてください。

音量調節ウィンドウの中心（数字）をクリックするとウィンドウの形状が変わります。ウィンドウが丸くなっているときは縁をドラッグして音量を調節します。

6. 再生を停止するには、［■］をクリック、またはリモコンの■ボタンを押します。

最後の曲まで再生したときは、自動的に停止します。

音楽CDを取り出すには

［⏏］をクリックします。

いろいろな再生のしかた

再生方法には、次の4種類があります。CDパネルまたはDISKパネルで操作します。

好みの1曲をくり返し再生するには

くり返したい曲の再生中に［REPEAT］をクリック、またはリモコンのREPEATボタンを押し、“🔁”を表示させます。

全曲をくり返し再生するには

再生中に［REPEAT］を2回クリック、またはリモコンのREPEATボタンを2回押し、“🔁 All”を表示させます。

リピート再生を解除するには

［REPEAT］をくり返しクリック、またはリモコンのREPEATボタンをくり返し押し、“🔁”を消します。

指定した区間（A-B間）をくり返し再生するには

1. 再生中に、くり返し開始位置で、［A-B］をクリックします。

“A↻”と表示されます。

“A↻”表示

2. くり返し終了位置で、［A-B］をクリックします。

“A↻B”と表示され、A-B間をくり返し再生します。

A-Bリピート再生を解除するには

［A-B］をくり返しクリックし、表示を消します。

ランダムに再生するには

再生中に［RANDOM］をクリック、またはリモコンのRANDOMボタンを押し、“🎲”を表示させます。

“🎲”表示

ランダム再生を解除するには

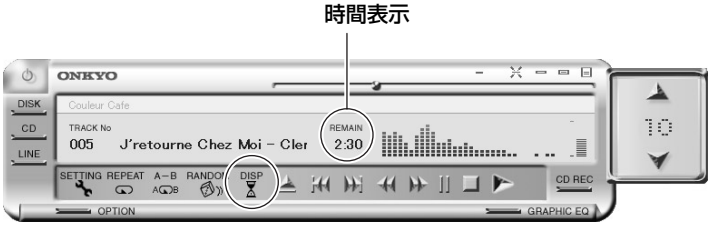
［RANDOM］をくり返しクリック、またはリモコンのRANDOMボタンを押し、表示を消します。

時間表示を切り換えるには

［DISP］をクリックします。

クリックするたびに、経過時間表示と残り時間表示が切り換わります。

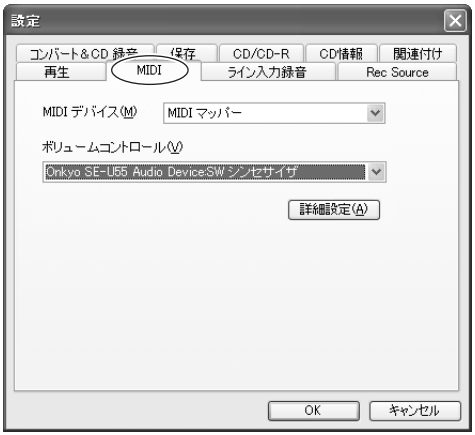
時間表示



MIDIファイルの再生のしかた

1. ［SETTING］をクリックします。

2. ［MIDI］タブをクリックし、お使いになるMIDI出力デバイスと、選択したデバイスのボリュームコントロールを設定し、［OK］をクリックします。



以上で設定は完了です。

3. MIDIファイルを再生します。

MIDIファイルの再生方法は他のミュージックファイルと同様です。
50ページをご覧ください。
MIDIファイルの再生中は、MIDIパネルの操作が可能です。MIDIパネルの操作については、24ページをご覧ください。

MIDIパネルの操作について

MIDIファイルの再生中は、MIDIパネルの操作が可能です。
MIDIパネルを開くには、DISKパネル下部の［MIDI］をクリックします。

各トラックの再生ボリュームを調整します。

SOLO/MUTE/VOLUMEの設定がリセットされます。

[SOLO] ボタンが点灯し、ON/OFFスイッチがSOLOに割り当てられます。選択した一つのトラックがSOLOで再生されます。

再生しているMIDIファイルの再生キーを変更します。

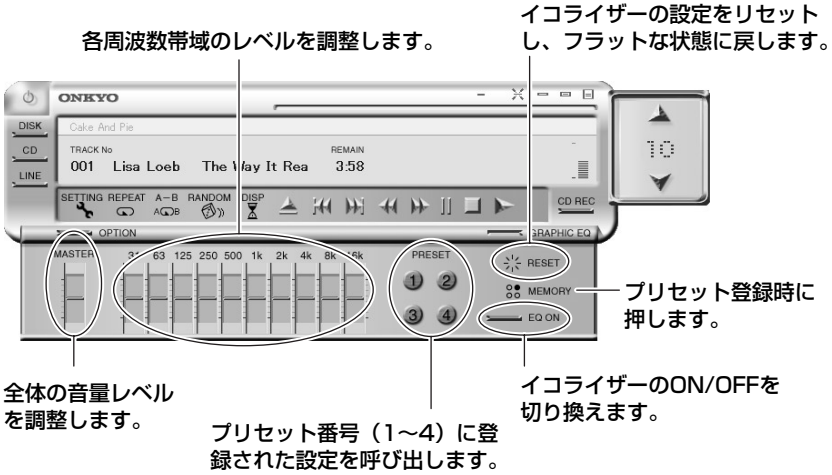
ON/OFFスイッチ。[MUTE] や [SOLO]を選択したあとにこのボタンをクリックすると、そのトラックのオン／オフを設定することができます。

[MUTE]ボタンが点灯し、ON/OFFスイッチがMUTEに割り当てられます。選択したトラックがミュートされます。（複数選択可）

再生しているMIDIファイルの再生テンポを変更します。

グラフィックイコライザーの使い方

音楽CDまたはミュージックファイルの再生中は、GRAPHIC EQパネルの操作が可能です。
GRAPHIC EQパネルを開くには、DISKパネルまたはCDパネル下部の［GRAPHIC EQ］をクリックします。



グラフィックイコライザーの設定を登録するには

1. GRAPHIC EQパネルで各周波数帯域を調整します。
2. ［MEMORY］をクリックします。
3. プリセット番号ボタン（[1]〜[4]）をクリックします。
   すでに登録済みの番号をクリックすると、新しい設定が上書きされます。

登録された設定を呼び出すには

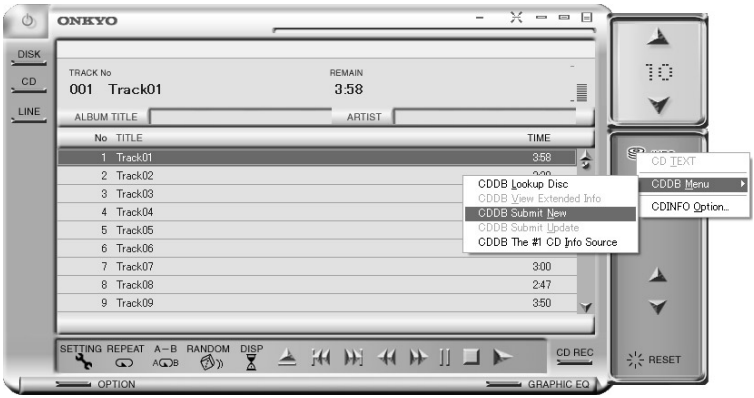
プリセット番号ボタン（[1]〜[4]）をクリックします。

ご注意

再生する曲によっては、グラフィックイコライザーのレベルを上げすぎると、音が歪むことがあります。

CDDBについて

CDDB®とは、インターネットを使った音楽CDのデータベースサービスです。
CarryOn　Musicは、CDDB®に接続して、音楽CDのいろいろな情報（アルバム名・アーティスト名・曲名など）を読み込むことができます。
一度読み込んだ音楽CDの情報は、CarryOn　Musicの内部に保存されるので、次回以降はインターネットに接続しなくても表示されます。
CDDB®のユーザ登録のしかたについては、27ページをご覧ください。
録音の手順については「音楽CDを録音する」（32ページ）をご覧ください。



ご注意

- CDDB®を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft Internet Explorer 4.0以上が必要です。
- CDDB®は、初回の利用時にインターネット上でのユーザー登録（無料）が必要です。

CDDBを利用するための設定をする

1. 画面左下の［SETTING］をクリックし、［CD情報］タブをクリックします。

2. ［CDDBを使用する］にチェックマークが入っていることを確認します。

チェックする

3. ［Proxy設定］をクリックします。プロキシー（Proxy）経由でアクセスするときのみ、［はい］をクリックします。

4. 必要な設定を行って、［OK］をクリックします。
   プロキシーの設定は、お使いのインターネットブラウザの設定に合わせます。

5. ［CD情報］画面の［OK］をクリックします。

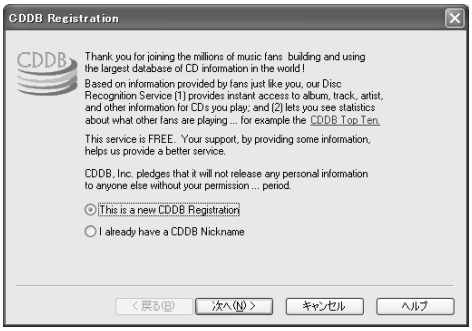
CDDBのユーザー登録をするには

1. CD-ROMドライブに音楽CDを入れて、操作パネルの［CD］をクリックします。

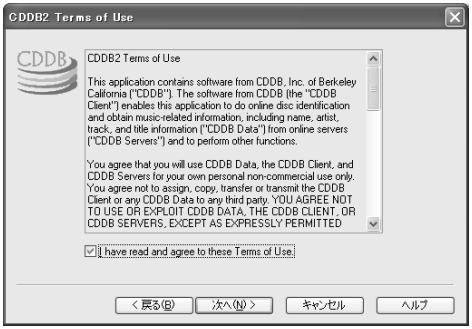
2. ［INFO］→［CDDB Menu］→［CDDB Lookup Disc］をクリックします。
   はじめてCDDBにアクセスしたときは、CDDBへの登録画面が表示されます。

3. 「次へ」をクリックします。

はじめてのときは「This is a new CDDB Registration」を選択します。

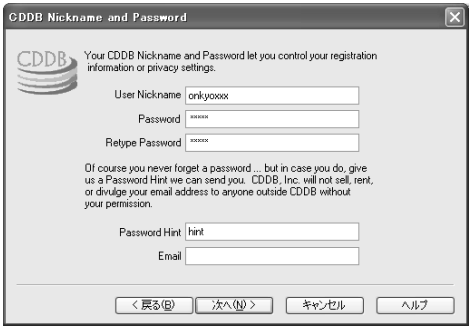


4. CDDBの利用許諾に同意する場合は「次へ」をクリックします。



5. CDDBに登録するユーザ名、パスワード、パスワードのヒント、メールアドレスを入力します。

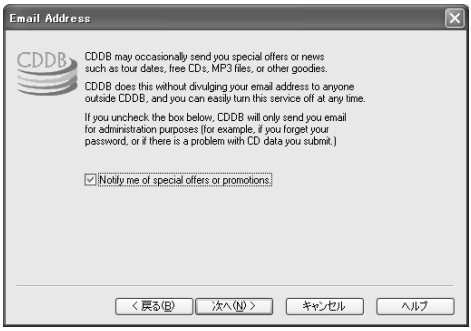
User　Nickname欄には、あなたのニックネームを入力します。
Password欄には、あなたのニックネーム用のパスワードを入力します。
Retype Password欄には、確認のためもう一度同じパスワードを入力します。
Password Hint欄には、ヒントとなる言葉を登録しておくと、パスワードを忘れたときにメールで受け取ることができます。
Email欄には、あなたのメールアドレスを入力します。



6. 「次へ」をクリックします。

CDDBからの情報をメールで受け取りたい場合は、チェックボックスにチェックしてください。

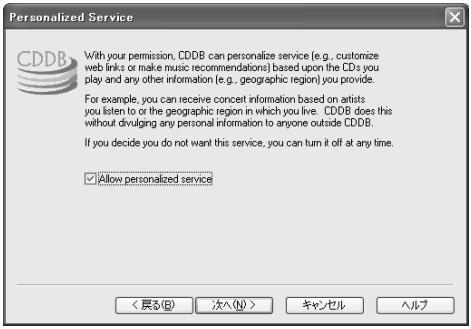
これらのサービスは無料です。また、いつでも取りやめることができます。



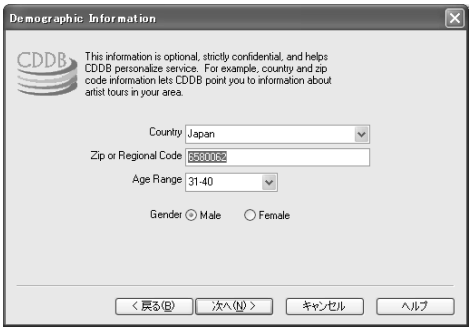
7. 「次へ」をクリックします。

CDDBのその他のサービスを受け取りたい場合は、チェックボックスにチェックしてください。

これらのサービスは無料です。また、いつでも取りやめることができます。



8. Country(国名）、Zip or Regional Code（郵便番号）、Age Range（年齢）、Gender（性別）を入力したら、「次へ」をクリックします。



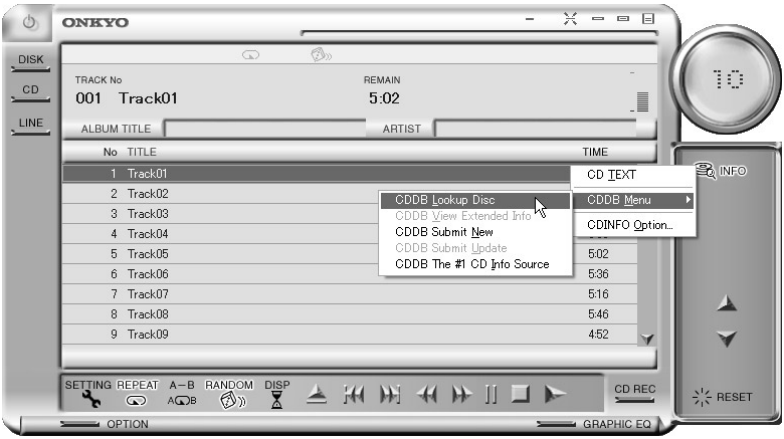
9. 「完了」をクリックします。CDDBのユーザ登録が完了しました。

次回からは、操作パネルの。［INFO］→［CDDB Menu］→［CDDB Lookup Disk］で音楽CDの情報を問い合わせることができます。

CDDBから音楽CDの情報を取得するには

1. CD-ROMドライブに音楽CDをいれて、操作パネルの［CD］をクリックします。

2. ［INFO］→［CDDB Menu］→［CDDB Lookup Disk］を選択します。



3. 右記のアイコンが画面上に現れ、CDDBへの問い合わせが始まります。

4. CDDBから取得した音楽CDの情報が表示されます。

CD TEXTについて

CD TEXTとは、曲名やアーティスト名をCD TEXT対応のCDプレーヤやカーオーディオで表示させる機能です。

ご注意

CD TEXTディスクを使用するには、CD TEXT対応のCD-ROMドライブ（または相当品）が必要です。

1. ［SETTING］をクリックし、［CD情報］タブをクリックします。

2. ［CD TEXTを使用する］にチェックマークを入れ、［OK］をクリックします。

3. CD TEXTディスクをCD-ROMドライブにセットします。

4. ［CD］をクリックします。

5. ［INFO］をクリックし、［CD TEXT］をクリックします。

録音する

音楽CDを録音する

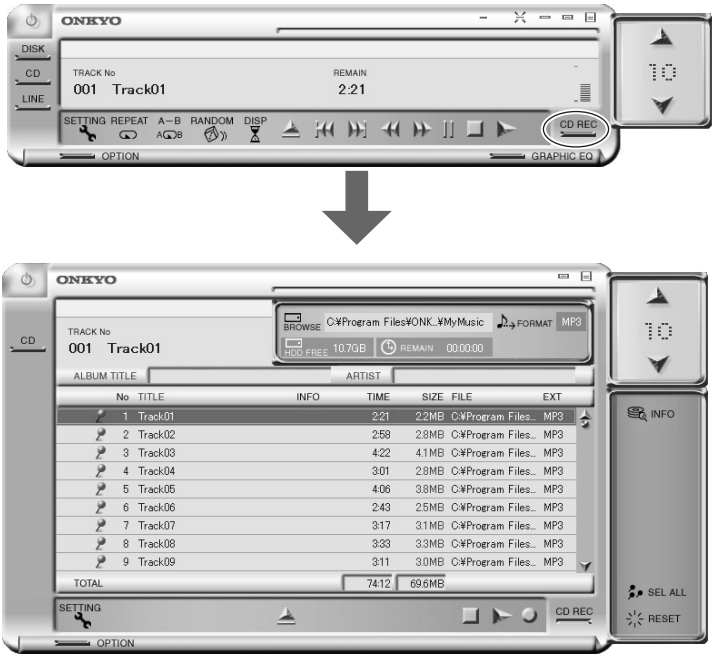
音楽CDを録音して、ミュージックファイルを作ります。
作成できるミュージックファイルの形式は、MP3、WMA、WAVEの3種類です。
初期設定のファイル形式は、MP3です。WMA、WAVEにするときは、「選択した曲を録音する、録音するファイル形式を指定する」（34ページ）の手順を参考にしてください。

1. **音楽CDをCD-ROMドライブにセットします。**

2. **CarryOn Musicを起動します。**

3. **［CD］をクリックします。**

4. **［CD REC］をクリックします。**



ヒント

録音モードを解除するには、CD RECボタンまたはCDボタンをクリックします。

5. アルバムのタイトルを入力します。

アルバムタイトル欄をクリックし、タイトルを入力しEnterキーを押します。アルバムタイトルはCDDBから取得することもできます。

CDDB®から情報を取得するときは、[INFO]をクリックします（30ページ）

6. [●]をクリックします。

音楽CDの全曲を録音して、自動停止します。

ご注意

- アルバムタイトルは必ず入力してください。入力しないと、次の手順に進めません。
- アルバムタイトルの編集は、録音後に一括編集することはできません。録音した曲ごとの編集になりますので、最初に正しいタイトル名を入力することをお勧めします。
- CDDB®から情報を取得するときは、画面の［INFO］→［CDDB Menu］→［CDDB Lookup Disc］をクリックします。CDDB®の詳しい内容および設定については26ページをご覧ください。
- アルバムタイトルを手動で入力する場合は、CDDB®でCD情報を取得しないでください。データベースに情報がない場合、各項目がすべて消去されてしまいます。

選択した曲を録音する、録音するファイル形式を指定する

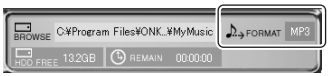
1. 「音楽CDを録音する」（32ページ）の手順1～5の操作をします。

2. 録音する曲を選びます。

1曲ずつクリックして、録音する曲（赤）と録音しない曲（グレー）を選ぶことができます。
［SEL ALL］をクリックすると、全曲が録音する曲（赤）になります。
［RESET］をクリックすると、全曲が録音しない曲（グレー）になります。

3. ［FORMAT］を（くり返し）クリックして、ファイル形式を選びます。

クリックするたびに、ファイル形式がMP3→WAV→WMA→MP3と切り換わります。初期設定は、MP3です。



初期設定をWMAやWAVE形式にするには

① ［SETTING］をクリックします。
② ［コンバート&CD録音］タブをクリックし、ファイル形式を選びます。
③ ［OK］をクリックします。

4. ［●］をクリックします。

選んだ曲だけを録音して、自動停止します。

ヒント

録音モードを解除するには、CD RECボタンまたはCDボタンをクリックします。

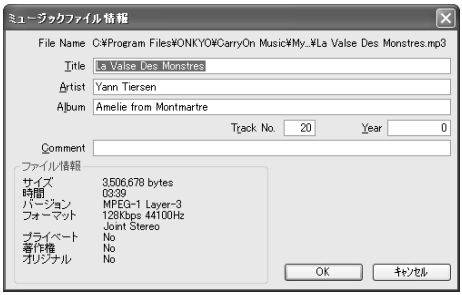
アーティスト名や曲名を入力するには

ミュージックライブラリやプレイリストに表示される各曲の情報をミュージックファイル情報と呼びます。
ミュージックファイル情報はCarryOn Musicが管理する独自の情報です。
ミュージックファイル情報を元に、アルバムタイトル・アーティスト名・曲名・ジャンルなどのタグ情報（ID3v1.1 tag準拠）も作成されます。

1. ［DISK］をクリックします。

2. 曲を選び、［EDIT］をクリックします。

3. 曲名やアーティスト名を入力して、［OK］をクリックします。



ヒント

曲名を選択して右クリックし、プロパティを呼び出してミュージックファイルを編集することもできます。

録音する

他の機器から録音する

USBデジタルオーディオプロセッサーなどを用いて、オーディオ機器と接続し、MDやテープの音をコンピュータに録音することができます。
接続方法は、USBデジタルオーディオプロセッサーなどの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- CD並みの音質（サンプリングレート44.1kHz、16ビット、ステレオ）で録音するには、WAVEファイルで1分あたり約10MB、同一レートでのMP3やWMAファイルへの録音では1分あたり約1MBの容量が必要です。録音するときは、ハードディスクに充分な空きがあることを確認してから録音を始めてください。
- 録音・再生時は、パソコンのCPUに大きな負荷がかかります。特に録音時は、音切れ・音飛びを防ぐために、他のアプリケーションを終了してから、録音されることをお勧めします。CPU能力や環境により、MP3などを直接作成するときに音切れや音飛びが発生する場合には、エンコード速度やフォーマットの設定を変更するか、いったんWAVEファイルを作成してからコンバートするなどの方法をお試しください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

1. CarryOn Musicを起動します。

2. ［LINE］をクリックします。

3. ［SETTING］をクリックします。

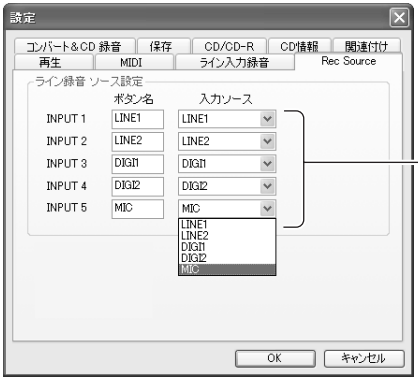
4. ［ライン入力録音］タブをクリックし、保存時のファイル形式を選んで、［OK］をクリックします。

手順7でシンクロ録音を選ぶとき
［自動保存］をチェックすると、設定した時間の無音が続くと、ソース（音源）の再生が終了したと判断して自動的に録音を停止し、録音内容を保存します。
［自動曲分割］をチェックすると、設定した時間の無音が続くと、曲のつなぎ目と判断して自動的に曲番をくり上げます。

5. RECORDINGサブパネルの設定をします。

SE-U55Xをご使用の場合、設定は必要ありません。手順6へ進んでください。

SETTINGをクリックし、「Rec Source」タブを開きます。
設定を変える必要がなければ「OK」ボタンを押して、手順6へ進んでください。



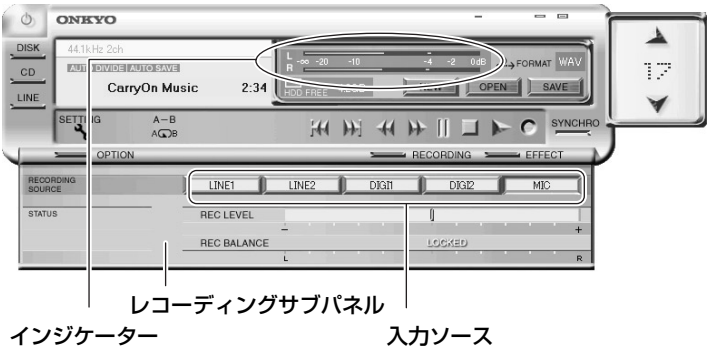
ライン録音ソース設定
RECORDINGサブパネルの入力ソースボタンの設定を変更できます。

ヒント

入力ソースの詳細な情報については、ご使用のサウンドボードなどの取扱説明書を参照ください。

6. RECORDINGサブパネルを開き、録音する機器の入力ソースを選択します。

SE-U55Xをご使用の場合、CarryOn Musicから入力ソースを選択できません。
SE-U55X本体のINPUTスイッチで入力ソースを選択してください。
SE-U55Xを使用した外部機器からの録音手順については、SE-U55Xの取扱説明書を参照ください。



ヒント

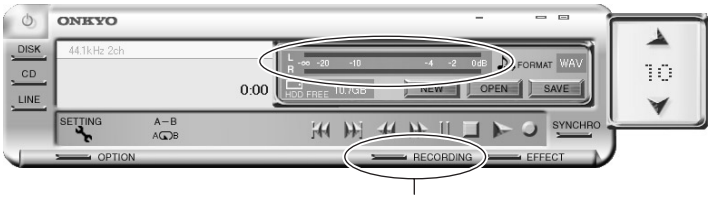
入力ソースの詳細な情報については、ご使用のサウンドボードなどの取扱説明書を参照ください。

7. ソース（音源）の再生を始め、録音レベルを調整します。

アナログの場合：

① SYNCHROボタンが消灯している状態で録音ボタンを押してください。

② ソース（音源）の再生を始め、レベルインジケーターを見ながら、PCに接続された録音機器側で録音レベルを調整します。



録音レベルの調整については、お使いの録音機器（USBオーディオプロセッサーやサウンドボードなど）の取扱説明書をご覧ください。

③ソース（音源）の再生を停止します。

デジタルの場合：

Rec Levelの調整は不要です。

8. SYNCHROボタンを押してシンクロ（入力ソースの再生に同期して録音を開始する機能）をONにし、録音ボタンを押します。

9. 入力ソース（音源）を再生します。

再生に同期して録音が始まります。

10. 録音を終えたら、［■］をクリックします。

録音した音声を確認するには［►］をクリックします。

エフェクトをかけるには

［EFFECT］をクリックし、エフェクトパネルを開きます。（40ページ）

ひとつのファイルに音声を録音するには

手順6～10をくり返します。

11.［SAVE］をクリックします。

録音内容が保存されます。

ご注意

ファイル名は自動的に決定され、DISKパネルのライブラリに登録されます。ファイル名などの変更が必要な場合は、ワイドパネルに切り換えて、必要箇所を書き換えた上で［SAVE］をクリックしてください。

続けて新規ファイルに録音するには

［NEW］をクリックします。

録音した曲にエフェクトをかけるには

LINEパネルで外部機器から録音するとき、録音後にEFFECTパネルを開いて、ファイルを分割したり、エフェクトをかけることができます。
録音済みのミュージックファイルを呼び出して編集することもできます。そのときは、［OPEN］をクリックし、ミュージックファイルを指定するか、エクスプローラ画面でファイルを指定して、LINEパネル画面にドラッグ＆ドロップします。

ファイルを分割する

「他の機器から録音する」（36ページ）の手順4で［自動曲分割］をチェックしておくと、シンクロ録音中に、設定した時間の無音が続くと、曲のつなぎ目と判断して自動的にファイルが分割されます。

録音後に手動でファイルを分割するには

［►］をクリックして再生音を聞きながら、分割したいところで［MARK ADD］をクリックし、マークをつけます。
マークは波形モニターに表示され、［MARK DEL］をクリックして削除したり、ドラッグ操作で移動したりできます。［CURSOR］をクリックすると、数値で位置を指定することもできます。

波形モニター

ZOOMの⊕と⊖をクリックすると、波形モニターを拡大／縮小できます。

分割したファイルを編集するには

ファイルを分割すると、曲名リスト欄の曲名分割され、2つの曲になります。この状態で、各タイトル欄の先頭にあるランプを1曲ずつクリックして、保存する曲（赤）と保存しない曲（グレー）を分けることができます。
保存する曲には、アーティスト名や曲名を入力することができます。（35ページ）
オムニバスCDなどから録音したとき、録音後に曲ごとにアーティスト名を入力する場合に便利です。

ご注意

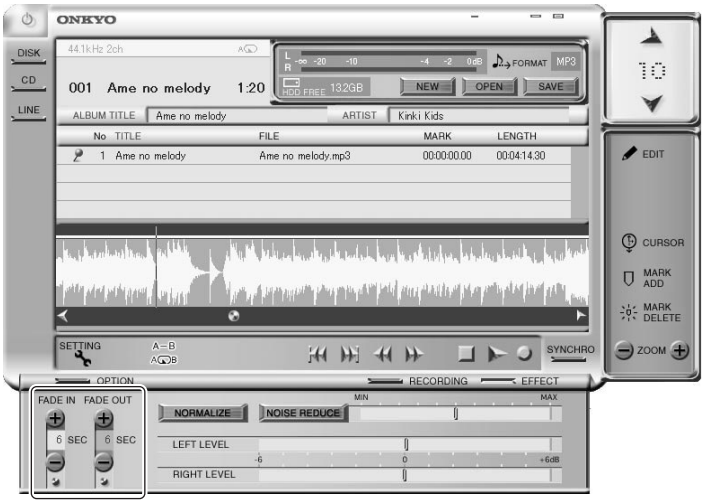
［SAVE］をクリックするまでは、実際の分割は実行されません。

エフェクトをかける

EFFECTパネルでは、下記のエフェクトをかけることができます。
エフェクト操作は、A-Bリピート（42ページ）で再生音を確認しながら行えます。
実際のエフェクト処理は、［SAVE］をクリックするまで実行されないので、何度もエフェクトの効果を確認しながら調整できます。

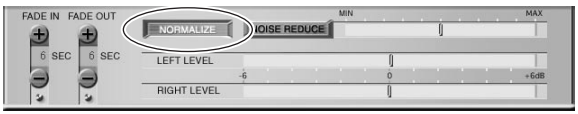
フェードイン／フェードアウトをかける

徐々に音量を上げて曲の再生を始めたり（フェードイン）、徐々に音量を下げて再生を終わる（フェードアウト）設定ができます。
フェードインを始めたい位置で［FADE　IN］をクリックし、フェードアウトを始めたい位置で［FADE OUT］をクリックします。フェードインタイムとフェードアウトタイムは、それぞれ秒単位で設定できます。
フェードイン／フェードアウトを設定すると、波形モニターに右上がり／右下がりの線が表示されます。
フェードイン／フェードアウトは、指定した曲だけにはたらきます。



ノーマライズをかける

録音レベルが低すぎたときなど、再生音が歪まないように、適切なレベルで録音した状態に全体のレベルを補正します。
ノーマライズをかけるには、［NORMALIZE］をクリックします。
ノーマライズは、すべての曲にはたらきます。

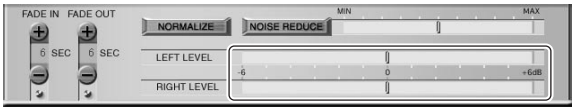


左右のレベルを調整する

左右の録音レベルが均一でない場合、どちらかのレベルだけを増減させて、バランスの調整ができます。

左右のレベルを設定するには、LEFT LEVELまたはRIGHT LEVELの指針をドラッグします。

設定されたレベルは、すべての曲にはたらきます。



ノイズ低減レベルを設定する

再生時にノイズが聞こえる場合、レベルを下げてノイズの軽減ができます。

ノイズ低減レベルを設定するには、［NOISE REDUCE］をクリックし、指針をドラッグします。

ノイズ低減レベルは、すべての曲にはたらきます。

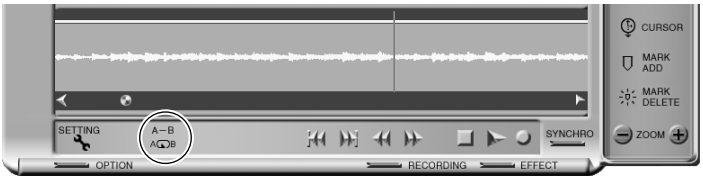
指定した区間だけをくり返し再生する（A-Bリピート）

エフェクトの効果を確認したい部分をくり返し再生し、再生音を確認しながら操作できます。

1. **再生中に、くり返し再生を始めたい位置で、［A-B］をクリックします。**

2. **再生を終わりたい位置で、もう一度［A-B］をクリックします。**

A-B間がくり返し再生され、エフェクトの効果を確認できます。



他のフォーマットに変換する

WAVE形式のミュージックファイルをMP3やWMA形式に変換できます。また、MP3ファイルをWMAやWAVEファイルにも変換できます。

ご注意

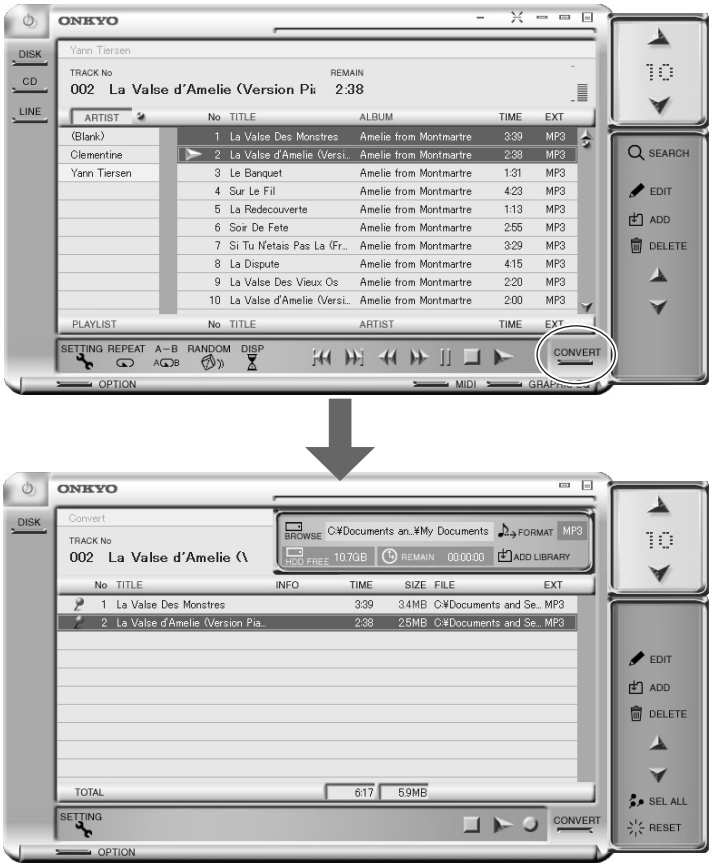
WMAファイルは、他のファイル形式に変換できません。

ヒント

- MP3やWMAファイルは、WAVEファイルに比べて、データ容量が小さくなります。
- 変換元のファイルもハードディスクに残るので、不要な場合は削除してください。

1. ［DISK］をクリックします。

2. 変換する曲をクリックして選び、［CONVERT］をクリックします。

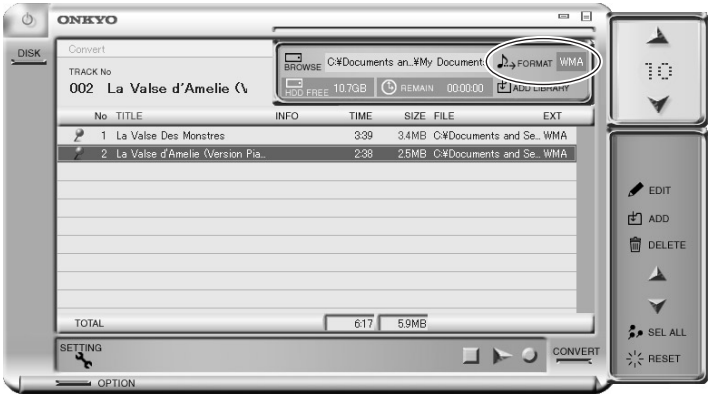


ヒント

アルバム名やプレイリストを選ぶと、グループ単位で変換できます。
複数の曲を選ぶときは、次のようにします。

- 連続した複数のトラックを選択するときは、Shift キーを押しながらクリック
- 連続していない複数のトラックを選択するときは、 Ctrl キーを押しながらクリック

3. ［FORMAT］をクリックし、変換するファイル形式を選びます。



「標準の録音形式を適用できないミュージックファイルがあります。個別に設定してください。」と表示されたら

① ［Setting Error］と表示している曲を右クリックし、メニューから［プロパティ］→［録音］タブをクリックします。

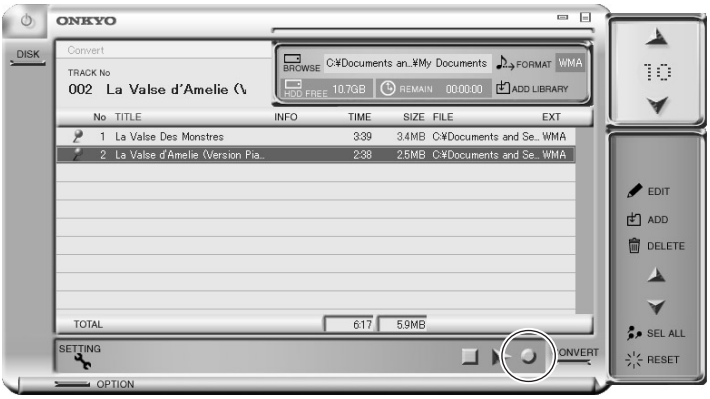
② ファイル形式やフォーマットなどを設定します。

③ ［OK］をクリックします。

ヒント

変換元と異なる場所に保存するには
［BROWSE］をクリックし、保存先を変更します。
変換した曲をミュージックライブラリに登録するには
［ADD LIBRARY］にチェックマークを入れます。

4. ［●］をクリックします。



ヒント

- 変換モードを解除するには、CONVERTボタンまたはDISKボタンをクリックします。
- 変換する曲を選んでから右クリックし、メニューから［別のフォーマットへコンバート］をクリックして操作することもできます。

CD-R/RWの書き込み設定をする

お使いのパソコンがCD-R/RWドライブを搭載しているときは、MP3形式またはWAVE形式のミュージックファイルをCD-Rに記録できる形式に変換し、CD-Rに記録することができます。

ご注意

WMAファイルは、他のファイル形式に変換できません。

1. ［DISK］をクリックします。

2. ［SETTING］をクリックします。

3. ［CD/CD-R］タブをクリックし、［書き込みスピード］や［テスト書き込みを行う］を設定し、［OK］をクリックします。

ご注意

- 現在CarryOn　Musicに対応しているドライブリストについては、68、69ページをご覧ください。最新版の対応ドライブは下記のURLでご確認ください。
  http://www.onkyo.co.jp/comver2_1/c-drive.htm

録音する

音楽CDを作成するには

1. ［DISK］をクリックします。

2. 変換する曲をクリックして選び、［CONVERT］をクリックします。

3. ［FORMAT］をクリックし、［CDA］形式を選びます。

4. CD-R/RWドライブに、オーディオ用CD-R/RWメディアをセットします。

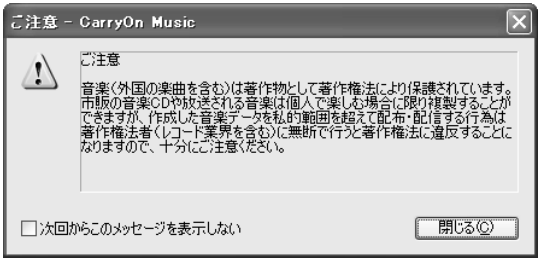
5. ［●］をクリックします。

記録が始まります。
記録が終了すると、CD-R/RWドライブのトレイが自動的に開きます。

MP3 CDを作成するには

1. ［DISK］をクリックします。
2. 変換する曲をクリックして選び、［CONVERT］をクリックします。
3. ［FORMAT］をクリックし、［CDD］形式を選びます。

4. CD-R/RWドライブに、オーディオ用CD-R/RWメディアをセットします。
5. ［●］をクリックします。
   著作権についてのご注意が表示されるので、確認して［閉じる］をクリックします。



   クリックすると書き出しの画面が表示されます。

6. ファイルシステム（ISO9660またはJoliet）を選びます。

Jolietを推奨します。
［ディスクをクローズする］にチェックを入れると、それ以降の追記はできなくなります。

7. ［書き出し］をクリックします。

記録が始まります。
記録が終了すると、CD-R/RWドライブのトレイが自動的に開きます。

ご注意

MP3 CDについて

- MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。MP3ファイルが入っているフォルダーには「F_001、F_002･･･」、フォルダー内のファイルには「T_001、T_002･･･」というように自動的に番号をつけます。
- ISO9660およびJoliet CD-ROMファイルシステムに従って記録します。再生したいCDプレーヤーにあわせて選択してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHzの固定ビットレートで記録されます。

ミュージックライブラリ

ミュージックライブラリ機能について

CarryOn Musicで録音したミュージックファイルは、自動的にミュージックライブラリに登録されます。ミュージックライブラリでは、アーティスト、アルバムのグループ単位で音楽の再生ができます。たとえば、任意のアーティストを選択すれば、そのアーティストのすべての曲を聞くことができます。

1. ［DISK］をクリックします。

2. ［ALL］をくり返しクリックして、グループ全体や、アーティスト、アルバムを選ぶことができます。

   クリックするたびに、表示が切り換わります。

●ALL：全曲

●ARTIST：アーティスト別

●ALBUM：アルバム別

3. ［►］をクリックすると、再生が始まります。

CarryOn Musicに音楽ファイルを登録するには

他のソフトウェアなどで作成され、すでにハードディスクに保存されているミュージックファイルを、ミュージックライブラリに追加できます。

1. ［DISK］をクリックし、ワイド画面またはスーパーワイド画面にします。

2. ［ADD］をクリックします。

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

3. 保存されているミュージックファイルを指定し、［開く］をクリックします。

選択したファイルが、ライブラリに追加されます。

ドラッグ&ドロップで追加する

1. 追加するミュージックファイルのあるフォルダを開きます。

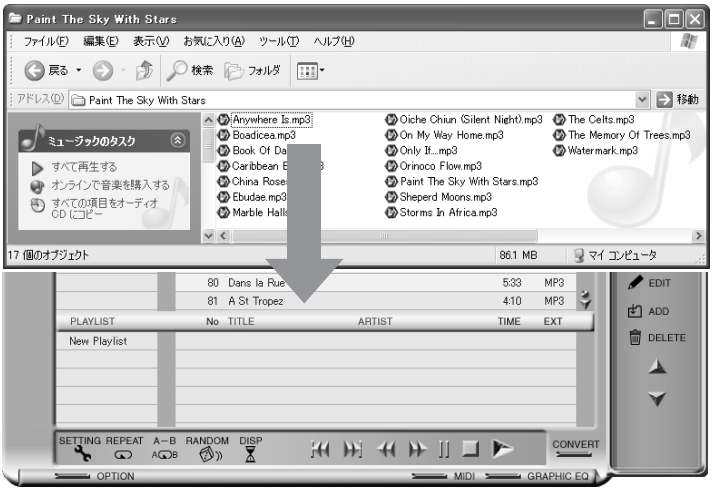
2. 追加するミュージックファイルを選択します（複数選択可）。

ヒント

複数のミュージックファイルを選ぶときは、次のようにします。

- 連続した複数のミュージックファイルを選択するときは、Shiftキーを押しながらクリック
- 連続していない複数のミュージックファイルを選択するときは、 Ctrlキーを押しながらクリック

3. 音楽ファイルを、ミュージックライブラリにドラッグ&ドロップします。



ヒント

- プレイリストにドラッグ&ドロップすると、プレイリストとミュージックライブラリの両方に追加されます。プレイリストについては55ページをご覧ください。
- 追加したミュージックファイルの情報を編集するときは、「アーティスト名や曲名を入力するには」をご覧ください（35ページ）。

CarryOn Musicに登録した曲を消去するには

1. ミュージックライブラリで、消去する曲を選択します。

ミュージックグライブラリのグループを消去するには、グループ内の曲をすべて選択して消去します。グループ名を選択してグループ内のデータを一括消去することはできません。

2. ［DELETE］をクリックします。

ヒント

- 連続した複数のトラックを選択するときは、Shift キーを押しながらクリックします。
- 連続していない複数のトラックを選択するときは、 Ctrl キーを押しながらクリックします。

3. ［はい］をクリックします。

ミュージックファイル自体も削除する時はチェックを入れます。

CarryOn Musicでの［DELETE］はCarryOn Musicへの登録の消去を意味します。ハードディスクに保存されているオリジナルのミュージックファイルは削除されません。ミュージックファイル自体を削除する時は、［削除］ダイアログボックスの［ファイルも同時に削除する］にチェックを入れてから［はい］をクリックしてください。

CarryOn Musicに登録した曲を検索するには

曲名やアーティスト名などを元に、ミュージックファイルを検索できます。
検索した曲をプレイリストに追加したり、新たにプレイリストとして登録することもできます。

1. ［DISK］をクリックします。

2. ［SEARCH］をクリックします。

3. ［検索文字列］に文字を入力して、［検索対象］と［検索範囲］を指定します。

4. ［検索］をクリックします。

ミュージックライブラリに検索結果が反転表示されます。
もう一度［検索］をクリックすると、次の検索候補に反転が移動します。

ミュージックライブラリ欄（［ALL］などの下）で右クリックし、メニューから［ライブラリ検索］をクリックして、［ライブラリ検索］ダイアログボックスを開くこともできます。

プレイリスト

プレイリスト（演奏リスト）機能について

プレイリストは、好みの曲を好みの順に再生するときに使います。ミュージックライブラリから好みの曲をプレイリストに登録して、オリジナルのプレイリストを作成できます。

ご注意

音楽CDから録音しただけでは、プレイリストには何も表示されません。

1. [DISK] をクリックし、ワイド画面またはスーパーワイド画面にします。

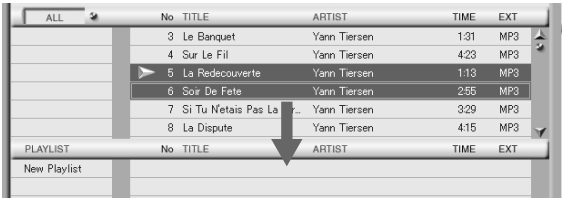
2. プレイリストに登録する曲をクリックして選びます。

ヒント

複数の曲を選ぶときは、次のようにします。

- 連続した複数のトラックを選択するときは、Shift キーを押しながらクリック
- 連続していない複数のトラックを選択するときは、 Ctrl キーを押しながらクリック

3. 選んだ曲を、プレイリストにドラッグ&ドロップします。



ヒント

ミュージックライブラリに登録されていない曲も、ドラッグ＆ドロップしてプレイリストに追加できます。プレイリストに追加すると、ミュージックライブラリにも追加されます。

4. 曲順を入れ換えるには、移動する曲をクリックして、［▲］または［▼］をクリックします。

移動する曲をドラッグ& ドロップしても入れ換えることができます。

5. ［►］をクリックします。

選んだ曲だけが、ミュージックリストの曲順で再生されます。

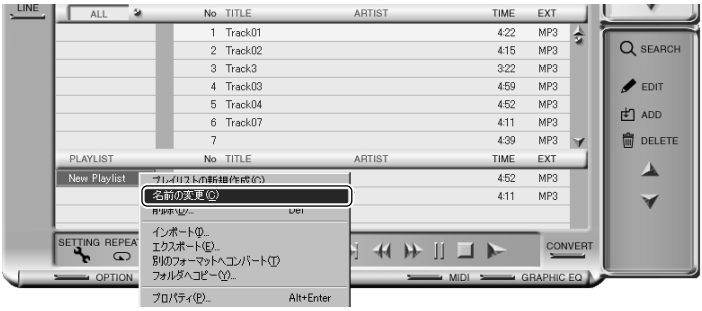
プレイリスト

新しいプレイリストを作るには

プレイリスト欄で右クリックし、［プレイリストの新規作成］をクリックします。

プレイリストの名前を変更するには

1. 変更する名前を右クリックし、メニューの［名前の変更］をクリックします。
2. 文字を入力して、Enterキーを押します。



プレイリストを削除するには

1. 削除するプレイリストを右クリックし、メニューの［削除］をクリックします。

2. 確認のメッセージが出たら、［OK］をクリックします。

ヒント

［DELETE］ボタンをクリックしても削除できます。

プレイリストを保存するには

1. プレイリストの名前を右クリックし、メニューの［エクスポート］をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

2. ［保存する場所］、［ファイル名］などを指定し、［保存］をクリックします。

アルバムタイトル・アーティスト名・曲名・ジャンル・曲順などの情報が、ファイルとして保存されます。

プレイリスト

プレイリストを読み込むには

1. プレイリスト欄で右クリックし、メニューから［インポート］をクリックします。

2. ［インポート］ダイアログボックスで、読み込むプレイリストファイルをクリックし、［開く］をクリックします。

   読み込んだプレイリストが表示されます。

ヒント

同じ名前のプレイリストがあるときは、確認メッセージが表示されます。同じ名前でいいときは、［OK］をクリックします。

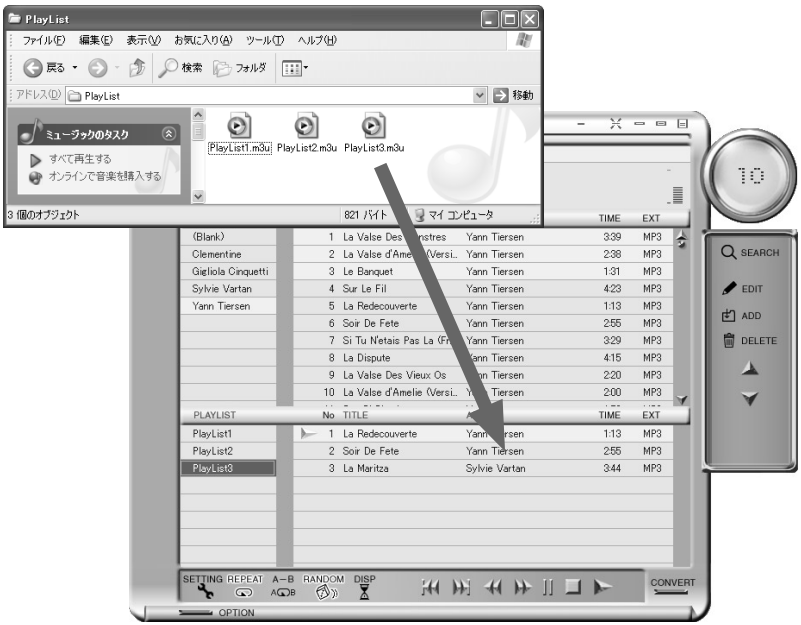
一度に複数のプレイリストを読み込むには

既存のプレイリストファイル（M3U形式またはPLS形式）を読み込むことができます。読み込まれたプレイリストは、ミュージックライブラリにも登録されます。

1. **プレイリストを保存してあるフォルダを開きます。**

2. **プレイリストファイル（M3U形式またはPLS形式）を選択します。**

3. **プレイリストファイルをCarryOn Musicのプレイリストエリアにドラッグ&ドロップします。**



読み込んだプレイリストが表示されます。

プレイリスト

プレイリストの任意の位置に曲を挿入するには

1. ミュージックライブラリで、追加する曲を選択します。
   グループに含まれるすべての曲を挿入するときは、グループを選択します。
2. 選択した曲またはグループを、追加先のプレイリストの挿入したい位置へドラッグ&ドロップします。

プレイリストの末尾に曲を挿入するには

1. ミュージックライブラリで、追加する曲を選択します。
   グループに含まれるすべての曲を挿入するときは、グループを選択します。
2. 選択した曲またはグループを、プレイリストの名前部分へドラッグ&ドロップします。

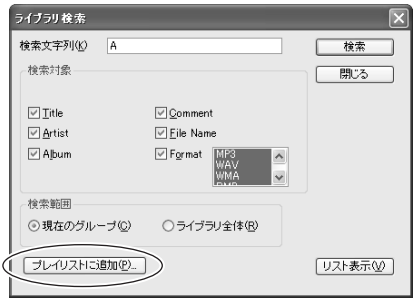
グループを選択して新しいプレイリストを作るには

ミュージックライブラリのグループを選択して、プレイリストの空白部分へドラッグ&ドロップします。

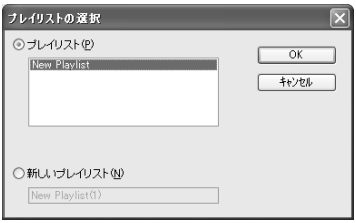
ミュージックライブラリのグループ名と同名のグループが新たに作成されます。

曲を検索して、プレイリストに追加するには

1. ［DISK］をクリックします。
2. ［SEARCH］をクリックします。
3. 検索する条件を入力し、［検索結果をプレイリストに追加］をクリックします。



4. 既存のプレイリストまたは新しいプレイリストを選びます。



5. ［OK］をクリックします。

既存のプレイリストを選んだとき
検索した曲が、選んだプレイリストの末尾に追加されます。
新しいプレイリストを選んだとき
検索した曲が新たに作成されたプレイリストに追加されます。

ヒント

プレイリストについては55ページをご覧ください。

プレイリスト

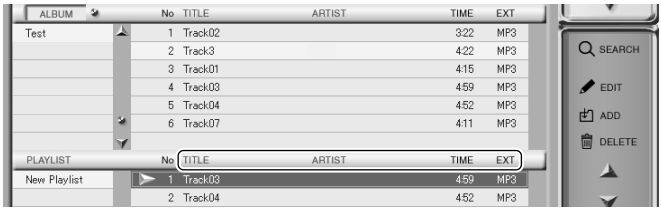
プレイリストの曲順を入れかえるには

曲を選んでドラッグ&ドロップします。

プレイリストの曲をソート（並びかえ）するには

TITLE、ARTISTの文字をクリックすると、その項目についてアルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の優先順位でソートされます。

プレイリストの見出し部分をクリックします。



ご注意

見出しの［No］部分をクリックしても、並びは切り換わりません。

プレイリスト内の曲をもう一度追加するには

同じまたは異なるプレイリストの中で曲をコピーすることができます。

1. **挿入する曲をクリックして選択します。**
2. **挿入位置にドラッグします。（マウスのボタンは押したまま）**
3. **Ctrlキーを押します。**
   マウスポインタに［+］マークがつきます。
4. **マウスのボタンを離します。**
   同じ操作をくり返して、何度でも追加できます。

プレイリストから曲を削除するには

1. **プレイリストで消去する曲をクリックし、［DELETE］をクリックします。**
2. **［削除］ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。**

ご注意

プレイリストから曲を消去しても、ミュージックライブラリの同じ曲は消去されません。
ただし、ミュージックライブラリの曲を消去すると、プレイリストの曲も消去されます。

SETTING（環境設定）について

［SETTING］をクリックすると設定画面が表示されます。設定できる項目は次の通りです。

MIDI

MIDIデバイス
MIDIデバイスを選択します。

ボリュームコントロール
音量調節用のデバイスを選択します。

詳細設定
ポートごとのMIDIデバイス、割り込み間隔、エンジンの選択などを行います。

ライン入力録音

シンクロ録音

自動保存
チェックすると、シンクロ録音時、設定した時間の無音が続くと、音源の再生が終了したと判断して自動的に録音を停止し、録音内容を保存します。

自動曲分割
チェックすると、シンクロ録音時、設定した時間の無音が続くと、曲のつなぎ目と判断して自動的に曲番をくり上げます。

保存ファイル

ファイル形式
録音によって作成するミュージックファイルのファイル形式を選択します。

ビットレート
ミュージックファイルの転送ビットレートを選択します。

サンプリング周波数
ミュージックファイルのサンプリング周波数を選択します。

量子化ビット数
ミュージックファイルの量子化ビット数を選択します。

チャンネル
ミュージックファイルのMONO/STEREOを選択します。

作業フォルダ
初期設定はTEMPフォルダになっています。

再生

曲間に無音を挿入
音楽を再生する場合の曲間を選択します。MDレコーダーなどでの録音用に、曲間の無音部を設定します。

コンバート&CD録音

この項目はファイル形式ごとに説明します。

ファイル形式（MP3）
MPEG Audio Layer-3

フォーマット
固定ビットレート（CBR）
MP3のファイルフォーマットを指定します。一般的には、ビットレートやサンプリングレートが高いほど高音質のMP3ファイルが生成されますが、ファイルサイズは大きくなります。
可変ビットレート（VBR）
MP3のファイルフォーマットを指定します。ここでは 圧縮率を選択します。

エンコード速度
録音パフォーマンスを、速度優先にするか音質優先にするかを指定します。

著作権フラグ
オンにすると、著作権を保護する情報がミュージックファイル情報に挿入されます。

ファイル形式（WAV）
Windows Wave File

形式
WAVEファイルのフォーマットを指定します。一般的には、ビットレートやサンプリングレートが高いほど高音質のWAVEファイルが生成されますが、ファイルサイズは大きくなります。

ファイル形式（WMA）
Windows Media Audio

フォーマット
WMAファイルのフォーマットを指定します。一般的には、ビットレートやサンプリングレートが高いほど高音質のWMAファイルが生成されますが、ファイルサイズは大きくなります。
ご注意：操作パネルや［ミュージックファイル情報］ダイアログボックスのフォーマットには、選択したビットレートと微妙に数値が異なるビットレートが表示される場合があります。例）選択時：128 Kbps → 表示数値：129 Kbps

保存

保存先
録音によって作成されるミュージックファイルの保存先を指定します。ネットワーク上のフォルダも選択できます。
初期設定は、CarryOn Musicがセットアップされているフォルダの中のMyMusicフォルダです。

サブフォルダ
CarryOn Musicは、保存先のフォルダにアルバム名やアーティスト名のサブフォルダを作成して、その中にミュージックファイルを保存します。ここでは、サブフォルダの作り方を指定します。
なし...サブフォルダは作りません。録音されたミュージックファイルはすべて［保存先］で指定したフォルダの中に保存されます。
Album...アルバム名のついたサブフォルダを作ります。ミュージックファイルはアルバムごとのフォルダに保存されます。
Artist-Album...アーティスト名のついたサブフォルダを作り、さらにその中にアルバム名のついたサブフォルダを作ります。ミュージックファイルはアルバムごとのフォルダに保存されます。

ファイル命名規則
録音によって作成されるミュージックファイルのファイル名のつけ方を指定します。
「01-Track01」のようなファイル名になります。
ファイル名には必ずTitle（タイトル）かTrack No.（曲番）が必要です。

コンバート先
変換したファイルの保存先を指定します。

CD/CD-R

CD ドライブ
音楽CDを録音・再生するCDドライブを指定します。

CD-R/RW設定
CD-RまたはCD-RWのドライブ、書き込みスピード、テスト書き込みの有無を選択します。

作業フォルダ
初期設定はTEMPフォルダになっています。

CD情報

CD TEXT設定
CD TEXTディスクを使用する場合はオンにします。
自動的に情報を取り出す／取り出さない、また、優先言語の指定もここで行います。

CDDB設定
CDDB®を使用する場合はオンにします。
自動接続の指定やProxyサーバーの設定もここで行います。

関連付け

ファイルの関連付け
チェックした拡張子のミュージックファイルはダブルクリックしてCarryOn Musicを起動し、再生することができます。

Rec Source

ライン録音ソース設定
RECORDINGサブパネルの入力ソースボタンの設定を変更できます。

ショートカットキー一覧

動作	キー	DISK	CONV.	CD	CDREC	LINE
＜共通＞						
再生	Alt+X	○	×	○	○	○
	TEN Key_5	○	×	○	○	○
	X	○	×	○	○	○
一時停止	Alt+C	○	×	○	×	○
	C	○	×	○	×	○
	TEN Key [.]	○	×	○	×	○
停止	Alt+V	○	×	○	○	○
	V	○	×	○	○	○
	TEN Key_0	○	×	○	○	○
OPTIONメニュー	Alt+F	○	○	○	○	○
設定	Ctrl+9	○	○	○	○	○
5秒後へ移動	TEN Key_9	○	×	○	×	×
5秒前へ移動	TEN Key_7	○	×	○	×	×
Volume Down	P	○	×	○	○	×
Volume UP	O	○	×	○	○	×
終了	Alt+F4	○	○	○	○	○
次の曲	Alt+B	○	×	○	○	○
	B	○	×	○	○	○
	TEN Key_6	○	×	○	○	○
前の曲	Alt+Z	○	×	○	○	○
	TEN Key_4	○	×	○	○	○
	Z	○	×	○	○	○
ALBUM TITLE編集	Alt+T	×	×	○	○	○
ARTIST編集	Alt+A	×	×	○	○	○
CDDB GET	Alt+D	×	×	○	○	×
EJECT	Alt+O	×	×	○	○	×
RESET	Alt+M	×	×	×	○	×
SEL_ALL	Alt+N	×	×	×	○	×

ショートカットキー一覧

動作	キー	DISK	CONV.	CD	CDREC	LINE
＜DISK のみ＞						
ALBUM	Alt+3	○	×	×	×	×
ALL	Alt+1	○	×	×	×	×
ARTIST	Alt+2	○	×	×	×	×
PLAY LIST Down	TEN Key_DOWN	○	×	×	×	×
PLAY LIST Up	TEN Key_UP	○	×	×	×	×
ライブラリ検索	Ctrl+F	○	×	×	×	×
ミュージックファイル情報	Alt+E	○	×	×	×	×
	Alt+TEN Key_RETURN	○	×	×	×	×
ミュージックファイル登録	Ctrl+O	○	○	×	×	×
＜LINE のみ＞						
マーク追加	M	×	×	×	×	○
再生・停止	SPACE	×	×	×	×	○
＜その他＞						
DISK	Ctrl+3	×	○	○	×	○
CONVERT	Ctrl+6	×	×	×	×	×
CD	Ctrl+2	○	×	×	○	○
CDREC	Ctrl+5	×	×	○	×	×
LINE	Ctrl+4	○	×	○	×	×
パネルサイズ標準 / ワイド	L	○	×	○	×	×
Normal	N	○	×	○	×	×
RANDOM	S	○	×	○	×	×
REPEAT	R	○	×	○	×	×
設定［録音］	Alt+TEN Key_RETURN	×	×	×	○	×

対応CD-R/RWドライブ一覧

メーカー	製品名（型番）
ARCHOS	MiniCDRW XS4424
	MiniCDRW XS4432
	MiniCDRW XS8432
ATAPI (Acer)	CD-R/RW 2x2x6
	CD-R/RW 2x2x24
	CD-R/RW 4x4x6
	CD-R/RW 4x4x8
	CD-R/RW 4x4x24
	CD-R/RW 8x4x24
	CD-R/RW 4x2x30
	CD-R/RW 4x4x30
	CD-R/RW 6x4x30
	CD-R/RW 8x4x30
	CD-R/RW 4x2x32
	CD-R/RW 4x4x32
	CD-R/RW 6x4x32
	CD-R/RW 8x4x32
	CD-R/RW 10x4x32
	CD-R/RW 10x8x32
	CD-R/RW 12x4x32
	CD-R/RW 12x8x32
	CD-R/RW 16x8x40
	CD-R/RW 16x10x32
	CD-R/RW 16x10x40
BACKPACK (Microsolutions)	CD-REWRITER-4A
	CD-REWRITER-4B
	CD-REWRITER-4C
	CD-REWRITER-4D
	CD-REWRITER-4E
	CD-REWRITER-4F
	CD-REWRITER-4G
BTC	BCE832IE
	BCE833IE
	BCE840IE
CARAVELL (Caravelle)	CDR CDR-N820S
CENDYNE*	
CREATIVE	CD-RW RW4224E
	CD-RW RW4424E
	CD-RW RW4425E
	CD-RW RW6424E
	CD-RW RW8432E
	CD-RW RW8433E
	CD-RW RW8435E
	CD-RW RW8439E
DELTA	CDE6121
FREECOM*	
GOLDSTAR	CD-RW CED-8041B
	CD-RW CED-8042B
	CD-RW CED-8043B
	CD-RW CED-8045B
	CD-RW CED-8060B
	CD-RW CED-8080B
	CD-RW CED-8081B
	CD-RW CED-8082B
	CD-RW CED-8083B
	CD-RW CED-8084B
	CD-RW CED-8085B
	CD-RW CED-8120B
	CD-RW CED-8121B
	CD-RW CED-8122B
	CD-RW CED-8123B
	CD-RW CED-8124B
	CD-RW CED-8125B
HI-VAL	H4416A
	H4416S
HP (Hewlett Packard)	CD-Writer+ M820
	CD-Writer+ 7100
	CD-Writer+ 7200
	CD-Writer+ 7500
	CD-Writer+ 8000
	CD-Writer+ 8100
	CD-Writer+ 8200
	CD-Writer+ 8200a
	CD-Writer+ 8290
	CD-Writer+ 9100
	CD-Writer+ 9100b
	CD-Writer+ 9100c
	CD-Writer+ 9100f
	CD-Writer+9100ei
	CD-Writer+ 9200
	CD-Writer+ 9300
	CD-Writer+ 9500
	CD-Writer+ 9500b
	CD-Writer+ 9500c
	CD-Writer+ 9600
	CD-Writer+ 9700a
	CD-Writer+ 9700b
	CD-Writer+ 9700k
	CD-Writer+ 9700n
	CD-Writer+ 9700p
	CD-Writer+ 9800m
	CD-Writer+ 9900j
IMATION	CD-R IMR080020
	CD-R IMR080220
	CD-RW IMW040420
IOMEGA	ZIP CD
	ZIPCD 650
	ZIPCD 650 USB
	ZIPCD 4x650
JVC	XR-W4080
	XR-W4080S
	XR-W4082
	XR-W4082S
	XR-W4424
	XR-W4424B
LACIE	CDBP-12432A
	CDBP-12432S
	CDRW-12432S
	CDBP-121032A
	CDRW-BOOSTER
LG	CD-RW CED-8041B
	CD-RW CED-8042B
	CD-RW CED-8043B
	CD-RW CED-8045B
	CD-RW CED-8060B
	CD-RW CED-8080B
	CD-RW CED-8081B
	CD-RW CED-8082B
	CD-RW CED-8083B
	CD-RW CED-8084B
	CD-RW CED-8085B
	CD-RW CED-8120B
	CD-RW CED-8121B
	CD-RW CED-8122B
	CD-RW CED-8123B
	CD-RW CED-8124B
	CD-RW CED-8125B
LITE-ON	LTR-0841
	LTR-1240
	LTR-1240B
MATSHITA (Matsushita)	CD-R CW-7502
	CD-R CW-7503
	CD-R CW-7582
	CD-RW CW-7585
	CD-RW CW-7586
MAXELL	MDVDRW6424
	MCDRW8X4X32
MELCO	CDRW-S4224
	CDRW-S4432
	CDRW-S8432
MEMOREX	CRW-1622
	CRW-2224
	CRW-2642
	CDRW/DVD 6424-4
	CD-RW 8220S
	CD-RW 12432S
MITSUBISH (Mitsubishi)	CDRW4420A

対応CD-R/RWドライブ一覧

メーカー	製品名（型番）
MITSUMI	CR-4802TE
	CR-4803TE
	CR-4804TE
	CR-48X5TE
NEC	NR-7500A
PHILIPS	CDD3610 CD-R/RW
	CDD3801 CD-R/RW
	CDD4201 CD-R/RW
	CDD4801 CD-R/RW
	CDD4851 CD-R/RW
	Omniwriter26A
	PCA382RW
	PCRW404
	PCRW804
	PCRW1208
PLEXTOR	CD-R PX-R412C
	CD-R PX-R820T
	CD-R PX-W4220T
	CD-R PX-W8220T
	CD-R PX-W8432T
	CD-R PX-W124TS
	CD-R PX-W1210A
	CD-R PX-W1210S
	CD-R PX-W1610A
QPS	CD-R PX-4220T
	CD-R PX-820T
	CD-R PX-8220T
	CD-R PX-8432T
	CD-R PX-W1210A
RICOH	MP6200A
	CD-R/RW MC104S
	CD-R/RW MP7040A
	CD-R/RW MP7040S
	CD-R/RW MP7060A
	CD-R/RW MP7060S
	CD-R/RW MP7063A
	CD-R/RW MP7080A
	CD-R/RW MP7083A
	CD-R/RW MP7120A
	CD-R/RW MP7125A
	CD-R/RW MP8040A
	CD-R/RW MP8040S
	DVD/CDRW MP9060
	CD-R/RW MP9120
	DVD/CDRW MP9120
RWD	RW4224
	RW4224S
	RW4424
	XR-RW4424

メーカー	製品名（型番）
SAMSUNG	CD-R/RW SCW-230
	CD-R/RW SW206
	CD-R/RW CW-207F
	CD-R/RW SW-208
	CD-R/RW SW-212B
	CDRW/DVD SM-304B
	CDRW/DVD SM-308B
	CDRW/DVD SM-308N
	CDRW/DVD SM-312B
	COMBO SM-304B
	CD-R/RW SW-408B
SANYO	CRD-R800P
	CD-R CRD-R800S
	CRD-BP800P
	CRD-BP900P
	CRD-BP1300P
	CRD-BP1400P
	CRD-RW1
	CRD-RW2
	CRD-BP2
	CRD-BP3
	CRD-BP4
SAF (Smart and Friendly)	CD-RW12432
	CD-R8020
	CD-RW8220
SONY	CD0RW CRX10U
	CD-RW CRX75A
	CD-RW CRX75L
	CD-RW CRX75U
	CD-RW CRX100E
	CD-R CRX110E
	CD-RW CRX120E
	CD-RW CRX140E
	CD-RW CRX140S
	CD-RW CRX145E
	CD-RW CRX145S
	CD-RW CRX160E
	CD-RW CRX160S
	CD-RW CRX200E
	CD-RW CRX200S
	CD-RW CRX500E
	CD-R CRX510E
	CD-RW CRX600E
	CD-RW CRX700E
TDK	CDRW8432
	CDRW121032
TEAC	CD-W24E
	CD-W54E
	CD-R56S
	CD-R56S4

メーカー	製品名（型番）
	CD-R58E
	CD-R58S
	CD-W512E
	CD-W512EB
TOSHIBA	IPC5025A
TRAXDATA	CDRW2224 PLUS
	CDRW2260+
	CDRW4424 PLUS
	CDRW4432 PLUS
WAITEC	CD-R WT2082
	CD-R WT3284
	DISCOVERY
	FRISBY
	RAPTOR RED
	RAPTOR
	SHUTTLE
	T-REX
	WT2036
	WT2036EI
	WT2082
	WT2422EI
	WT2444EI
	WT3244EI
	WT4046
	WT624
	WT824
WPI (Wearnes)	CDRW-622
	CDRW-4424
	CDRW-8432i
YAMAHA	CDR200C
	CDR200T
	CDR400C
	CDR400T
	CDR401
	CRW2100E
	CRW2100S
	CRW2216E
	CRW2216S
	CRW2260
	CRW4001
	CRW4260
	CRW4261
	CRW4416E
	CRW4416S
	CRW6416S
	CRW8424E
	CRW8424S
	CRW8824E
	CRW8824S

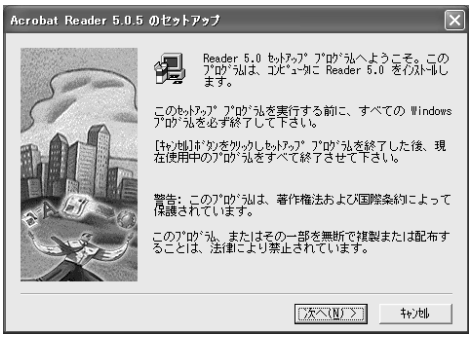
* このマークの付いたメーカーのドライブは自社ブランド再販していません。製造元メーカーの製品でご確認ください。

PDFファイルを見るには

ホームページに掲載している取扱説明書などのファイルは、PDF形式です。PDF形式のファイルを読むにはAcrobat Readerがインストールされている必要があります。
インストールされていない場合は、まず下記の「Acrobat Readerのインストール」にしたがって操作を進めてください。

Acrobat Reader のインストール

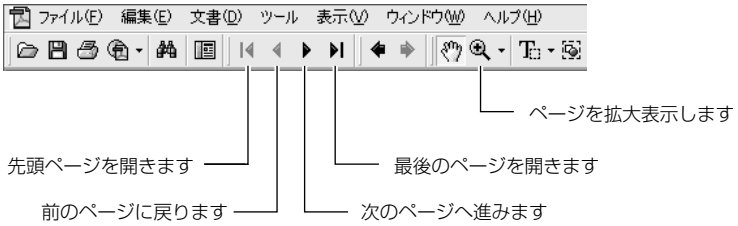
1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROMを開きます。
3. 次に「Adobe（アドビ）」フォルダを開きます。
4. フォルダ内にある「ar505jpn.exe」をダブルクリックします。
   ファイルの抽出が始まります。
5. あとは画面の指示にしたがってください。次の画面へ行くには「次へ」をクリックします。



Acrobat Readerの基本操作

メニューバーとツールバー

起動すると、画面の上部に図のような画面が表示されます。



その他

メニューバーの中から「ヘルプ」を選び、「Readerオンラインガイド」を選択します。
操作方法を詳しくお知りになりたい場合は、このオンラインガイドをご利用ください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
（全国どこからでも市内料金で通話いただけます）
または 072-831-8111（携帯電話、PHS から）

サポート時間：月～金曜日
（土日祝、弊社休日を除く）
9:30 ～ 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mail でのお問い合わせ：
mmcadmin@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.onkyo.co.jp/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343316

Printed in Japan
D0204-1